

を実感できるまちをめざす

平成24年度注目事業を紹介します



里中転車台周辺に地元の 観光拠点整備、環境公園を創設

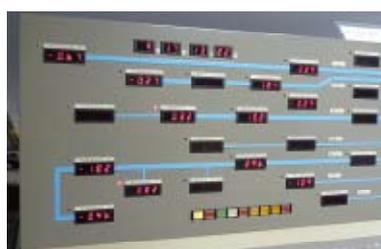
地域交流施設実施設計業務委託料 3千700万円
地域交流施設用地買収費 3億287万5千円



児童等の安全・安心の確保
富貴小学校屋内運動場耐震改築工事
3億508万6千円

児童の熱中症対策

小学校の普通教室に4台ずつ扇風機設置
武小、衣小特別支援教室にエアコン設置
3千969万9千円



地震防災対策
防災テレメータ
システム工事
3千988万5千円



**避難体制の
整備**
標高表示板・津波
避難ビル看板設置
299万8千円

迅速・正確な情報伝達

同報無線親局デジタル化事業
7千245万円

一人ひとりがまちを愛し、幸福

平成24年度 一般会計予算

過去3番目に大きな予算

127億7,500万円

防災対策関係 6億7,239万7千円

予算の内容

予 算の規模は、一般会計をはじめとする、5つの特別会計ならびに企業（水道）会計合わせて215億4973万9千円となり、前年度に対し、3億1719万1千円、1.5%増となりました。

一 般会計は、総額127億7500万円で、前年度に対し、9500万円、0.7%増となりました。防災機器整備事業や富貴小学校屋内運動場耐震改築工事など、防災対策関係事業の拡充、知多武豊駅東地区の市街地開発事業を推進するための調査設計委託費などを計上した予算編成となりました。

町 税の総額は、76億4650万円で、前年度に対し、1億6670万円、2.2%増の見込みとなりました。

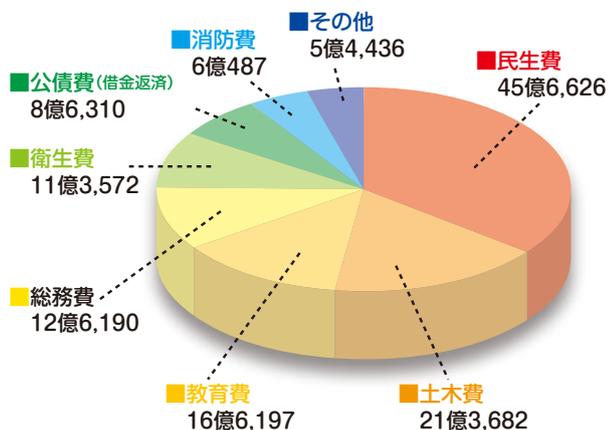
個 人町民税は、扶養控除の見直しにより1.1%増の22億3千万円、法人町民税は28.6%増の9億10万円と見込んでいます。

歳 出では、「ふれあいのあるまち」の一環で、やすらぎの森墓園整備事業1億8776万6千円、図書館運営（指定管理者制度）事業7740万円を計上。「子どもが健やかに育つまち」を推進するため、土曜日延長保育事業（北中根保育園を午後7時まで延長）295万円、南部子育て支援センター事業778万3千円を計上。

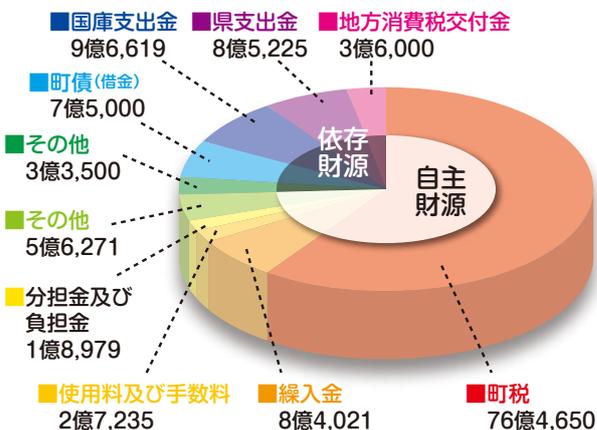
特 別会計の国民健康保険事業は被保険者の増加などにより7.4%増の38億8246万2千円。保険料率改正の後期高齢者医療は4.3%増の3億4604万5千円。憩いのサロンを2箇所増設予定の介護保険事業は、8.8%増の21億8426万6千円。下水道事業は12億7278万4千円となりました。

一般会計の内訳

単位：万円



歳出<使いみち>



歳入<財源>

議案 審議



■消防団の詰め所

平成24年第1回定例会(3月議会)は、3月2日から23日までの22日間の日程で開催され、報告案件や新年度予算関係議案など、全部で34議案が提案されました。

このうち、補正予算や新年度予算、条例改正など30の議案については、3月13日(火)に質疑が行われました。

議案 第1号

▼全会一致可決

一般会計補正予算 トランシーバーの デジタル化と配備について

問 消防費のトランシーバーデジタル化のメリットは何か。また、公共施設や企業などの配備計画は。

答 東日本においては、消防団員が限界まで海岸付近で地域住民を守ろうとした結果、多くの犠牲者を出した。現在、武豊町の消防団には、情報伝達用として、消防無線のみを配備しているが、災害時の被害を最小限に抑えるためにも消防団員の安全対策、情報装備、訓練など検討すべき問題が多く浮上している。

特に、電話回線がつながらない中、今回配備を検討しているトランシーバーは、5Wの出力で約4Kのエリアがカバーでき、チャンネルも30チャンネルあり、情報伝達手段として有効なものと考えている。

今後は、保育園、学校など各町内施設との災害時の情報連絡用として配備し、

さらには、町内企業にも配備していただき、役場との情報交換ができるよう検討している。

具体的な配備箇所は。

答 親局として、役場に1台。固定局として、武豊支署および町内4分団にアンテナを設置し、携帯用トランシーバーを各分団に6台ずつと正副団長に配備する予定。

議案 第8号

▼賛成多数可決
賛成14 反対3

平成24年度一般会計予算 防災力の向上に機器を整備

問 防災機器整備で防災力向上がどの程度期待できるか。

答 一つ目は同報無線親局のデジタル化工事で、親局をデジタル、アナログ両方の電波を出せるタイプに切り替え、アナログの設備を使いつつ、順次デジタルに切り替える。

二つ目は、防災テレメーターシステムの整備工事である。システムの老朽化に伴う水位監視装置で、ため

池に8箇所、河川4箇所に水位計を設置し、通信回線を用いて情報を収集し、さらに河川4箇所に監視カメラを設置する。

また、海岸にも1箇所監視カメラを設置し、海面の状況を把握できるようにし、町で観測した雨量・風速などや気象庁が発表する気象警報・注意報などを合せてホームページで公開する予定である。

地域交流施設用地の買戻し

問 地域交流施設用地の1万2千3百㎡を公社から買戻すのは決定事項か。

答 半田市土地開発公社にて取得してもらっているが、契約に基づいて、平成24年25年の2カ年で予定通り買戻す計画をしている。

図書館指定管理料

問 図書館指定管理料の内訳は。

答 主なものは、人件費4千8百78万6千円、消耗品費1千5百89万9千円、うち図書購入費として、1千350万円を計上している。

車両の借り上げ関係費として56万5千円、その他一般管理費として印刷製本



■図書館流通センターによる運営が始まった図書館

スクールアシスタントなどの 学校配置について

問 スクールアシスタント、スクールサポーター、特別支援教室支援員がそれぞれどの学校に何人配置されるか。

答 スクールアシスタントは、武豊小学校5名、衣浦小学校4名、富貴小学校5名、緑丘小学校3名、武豊中学校4名、富貴中学校4名、合計25名を予定している。スクールサポーターは、両中学校で1名、曜日を指



■やすらぎの森墓園

定し配置を予定している。

必要に応じ、小学校への対応もしていく。特別支援教室支援員は、緑丘小学校、衣浦小学校で各1名を予定している。

中央公民館のエレベーター

問 中央公民館へのエレベーター設置の考えは。

答 事務所の耐震性がないという点で、県から公民館内の設置は非常に難しいという意見をいただいた。外側ではどうかという点も含め色々検討しながら8月までには方針を決めたい

好ましいと考えている。

議案第9号

▼全会一致可決

国保会計予算

繰入金今後の見直し

問 一般会計から国保会計への繰入金が増額している。今後の見直しは。

答 平成24年度の当初予算の保険税は、2千万円程の減額になっている。歳出の保険給付費1億5千万円程の増額を見込んでいる。積算の結果、歳入の不足分を補うため、繰入金の増額を計上した。保険給付費の増減が通常繰入金を上下させる要因だが、この推移を見守りたい。

療養給付費抑制の対策は

問 療養給付費を減らす対策としては、病気になるしないと思つが、その対策は。

答 被保険者自身の高齢化や団塊の世代の加入により、保険給付費自体の増加は、続くものと思われる。対策としては、特定健診の受診率を高めること、また、ジエネリックの希望カード付

きのパンフレットを保険証の更新時に同封して宣伝する。

議案第11号

▼賛成多数可決
賛成15 反対2

介護保険予算

保険料増の要因は

問 保険料の特別徴収、普通徴収が30%ぐらいの収入増になっている。その要因は。

答 主な要因は、後期高齢者人口の増加による、認定者数の増加などに伴つ介護サービス利用者の増を見込んだため。また、施設介護については、知多圏域の自治体で老人保健施設や特別養護老人ホームの開設が計画されており、本町の被保険者の利用が増えることを見込んでいる。

議案第15号

▼賛成多数可決
賛成14 反対3

手数料条例の一部改正

サービスはどうなる

問 手数料引上げでサービスはどうなるか。今回改正

になつていない11項目以外の手数料の他市町との違いは。また、証明書類のコンビニ発行の予定は。

非課税などの制限を含んだ3級を考へていくところもある。予算的には年額で約280万円。

答 担当所管と検討した結果、今回提案した11項目が他市町と違い、町の負担が大きかったということ。コンビニ発行については、ソフト面で多くの調整を必要としており、同時にはできなかった。

1、2級が重度、中度、3級は軽度で、他の障害でもそれぞれランクがあり、そのこととの均衡を図つて、今回は1、2級とした。

議案第18号

▼賛成多数可決
賛成16 反対1

精神障害者医療費

支給条例の一部改正

対象の範囲について

問 医療費の支給範囲を1、2級の入院・通院にした理由は。また、検討中に出された意見は。3級まで拡大する意見はなかったのか。

答 本条例は、事前に関係住民の理解のもと実施するもので、地権者については、県条例で規定されており、県で対応することになると考へている。

議案第24号

▼全会一致可決

産廃処理施設の設定等に係る事前協議等に関する条例

地権者の責務、専門的知見は

問 地権者の責務についての規定や専門的知見を有する方の関与が必要ではないか。

答 本条例は、事前に関係住民の理解のもと実施するもので、地権者については、県条例で規定されており、県で対応することになると考へている。また、場合によっては、環境保全対策審議会を開催し、意見を聞くことも考へられる。

審議されたその他の議案

平成24年度予算

●議案第10号
後期高齢者医療特別会計予算

▼賛成多数可決

賛成15 反対2

●議案第12号
農業集落排水事業特別会計予算

▼全会一致可決

●議案第13号
下水道事業特別会計予算

▼全会一致可決

●議案第14号
水道事業会計予算

▼全会一致可決

●報告第1号
専決処分の報告について
「工事変更契約の締結に
（CSM）」

●同意第1号
固定資産評価審査委員会
の委員の選任

森田 安市 氏
▼全会一致同意

●諮問第1号
人権擁護委員候補者の推薦

福本 恒美 氏

▼全会一致推薦

●承認第1号
専決処分の承認を求める
ことについて

「平成23年度武豊町一般
会計補正予算（第8号）」

▼全会一致可決

●議案第2号
国民健康保険事業特別会
計補正予算（第3号）

▼全会一致可決

●議案第3号
後期高齢者医療特別会計
補正予算（第1号）

▼全会一致可決

●議案第4号
介護保険事業特別会計補
正予算（第2号）

▼全会一致可決

●議案第5号
農業集落排水事業特別会
計補正予算（第1号）

▼全会一致可決

●議案第7号
水道事業会計補正予算
（第2号）

▼全会一致可決

●議案第16号
職員退職手当基金の設置
及び管理に関する条例等
の廃止について

▼全会一致可決

●議案第17号
税条例の一部改正について

▼賛成多数可決
賛成15 反対2

●議案第6号
下水道事業特別会計補正
予算（第2号）

▼全会一致可決

●議案第19号
住民基本台帳法の一部を
改正する法律等の施行に
伴う関係条例の整備につ
いて

▼全会一致可決

●議案第21号
障害者自立支援条例の一
部改正について

▼全会一致可決

●議案第22号
保育所設置、管理及び保
育の実施に関する条例の
一部改正について

▼全会一致可決

●議案第23号
おおぞら園の設置及び管
理に関する条例の一部改
正について

▼全会一致可決

●議案第25号
図書館の設置及び管理に
関する条例の一部改正に
ついて

▼全会一致可決

●議案第26号
土地改良事業分担金徴収
条例の一部改正について

▼全会一致可決

●議案第27号
愛知県市町村職員退職手当
組合規約の変更について

▼全会一致可決

●意見書第1号
愛知県の福祉医療制度の存
続、充実を求める意見書

▼全会一致可決

●意見書第2号
原発から速やかに撤退し、
再生可能エネルギーの開
発と普及を求める意見書

▼賛成少数否決

●意見書第3号
子ども・子育て新システ
ムによる保育制度改革に
関する意見書

▼賛成少数否決

▼賛成多数可決
賛成15 反対2

●議案第28号
愛知県後期高齢者医療広域
連合規約の変更について

▼全会一致可決

●議案第29号
町道の路線認定について

▼全会一致可決

●議案第30号
工事請負変更契約の締結
について

「やすらぎの森墓園整備
工事」

▼全会一致可決

●意見書第4号
「社会保障と税の一体改革」
の中止を求める意見書

▼賛成少数否決

●意見書第5号
総ての高齢者に3万円の
年金支給を求める意見書

▼賛成少数否決

●意見書第6号
年金支給年齢の引き上げ
をやめるよう求める意見書

▼賛成少数否決

●意見書第1号
愛知県の福祉医療制度の存
続、充実を求める意見書

▼全会一致可決

●意見書第2号
原発から速やかに撤退し、
再生可能エネルギーの開
発と普及を求める意見書

▼賛成少数否決

●意見書第3号
子ども・子育て新システ
ムによる保育制度改革に
関する意見書

▼賛成少数否決

●意見書第4号
「社会保障と税の一体改革」
の中止を求める意見書

▼賛成少数否決



ご寄付ありがとうございました。
匿名の住民の方
3万円のご寄付
武豊中学校
プラスバンドの楽器購入

常任委員会報告

■総務企画委員会

総務企画委員会は、3月15日（木）、平成23年度一般会計補正予算1件、平成24年度一般会計予算1件、条例改正を始め、その他議案4件、合計6件の議案を審査した。

●補助金増の要因

問 地域公共交通の補助金が増えたと説明があったが、増額の要因は。

答 事業費の半分の約1千2百万円の申請をしたところ、補助制度の変更の関係で、県への申請額が少なく、ほぼ2分の1に近い約1千万円の補助金をいただくことになり、予想していた2百万円より大きな増額となった。

●地域活動推進交付金

問 地域活動推進交付金で、今までに行われた事業の内容は。また、平成23年度の利用状況は。



■駅前駐輪場

答 事業の主な内容としては、ハザードマップ作成などの防災活動、清掃活動などの環境改善活動、盆踊りなど、コミュニティ活動に関する事業や町民の文化・スポーツ活動の向上に資する事業および町民の学習機会を提供する事業となっている。また、平成23年度の利用状況は、15区から62の事業についての申請が提出され、3月6日現在、57件の事業が完了している。

●防犯カメラの設置
問 防犯対策費の防犯カメラの設置工事で名鉄知多武豊駐輪場に2台と聞いている。カメラ自体、録画機能がつくということでしょうか。

答 録画機能があり、後で確認できるようにしている。

●標高表示板の設置

問 地域防災費の消耗品費で標高表示板3百箇所、津波避難ビル看板10箇所を設置するが、最高メートルまでの表示板を作るのか。また、その周知は。

答 津波被害にあった際の避難経路を知るために、電柱などに標高表示板を設置する。電柱などに標高表示板を設置するには、通常、使用料を払うことになっている。現在、愛知県が中電とNNTに無償でお願いしている最中である。

標高表示板は、10メートル以下のところにつけていく。住民には、広報やホームページを通じて随時お知らせするとともに、防災マップなどにも含めていく。

■文教厚生委員会

文教厚生委員会は、3月14日（水）、平成23年度一般会計補正予算始め補正予算4件、平成24年度一般会計予算を始め新年度予算4件、条例改正などその他議案9件、合計17件の議案を審査した。

●保育園材料費で減額補正

問 保育園児の賄材料費の関係で、食材の調達方法を工夫したとのことだが、献立の変更などどのようにしたのか。

答 2か月前に献立を作成している。その後、八百屋などに発注し、単価が高い場合などは、材料を変更して発注している。安全な食材を基本に、食材の変更については、可能な限り対応している。その結果、今回、残額が出た。

●土曜日延長保育の実施
問 新年度から土曜日延長保育が実施されるが、昨年の夏の休日保育の総括と評価は。また、土曜日保育が北中根保育園のみでの実施の理由と想定の利用人数は。

答 昨年の夏の電力需給対



■すずし〜い

策時には、西保育園で実施し、利用延べ園児数は116名であった。保護者からは、「預かってもらい助かった」との言葉をいただいている。

土曜日保育（北中根保育園1園のみ）の実施については、町の中心的な位置であること、0歳児保育を実施していること、利用人数の想定の関係から決定した。想定人数は10人程度で、新年度の申込み済数は8人である。

●小学校に扇風機設置
問 小学校整備費の扇風機の工事について、暑い時期に間に合うようにできないか。

答 外国の方が安心して

か。また、1教室に4台とのことだが、風が均等に当たるように配慮しているか。

答 まず設計委託し、その後、工場の発注をする段階になっており、夏休み中の設置もギリギリだと思っている。また、近隣市町の学校で、実際に体感したところ、均等に風があたっており、学校からもそのように聞いている。

●あいち医療通訳システム
問 医療現場での通訳者の養成や派遣にかかる負担金との説明だが、派遣要請を行った時の手順はどのようになっているか。

答 外国の方が安心して

病院で受診できるよう、あ
いし医療通訳システム協議
会が設立され、4月1日か
ら医療通訳サービスが始ま
る。

医療通訳サービスは、医
療通訳者派遣、電話通訳、
文書翻訳の3種類に分類さ
れる。

これらの医療通訳サービ
スを受けるには、まず推進
協議会と医療機関などで協
定を締結していただく。そ
の後、医療機関などが必要
に応じて、外国人の同意を
得、事務局に派遣などの要
請を行う。

派遣要請については、事
務局に3日前までに派遣依
頼書を提出、また文書の翻
訳は翻訳依頼書および翻訳
原稿を提出する。

医療通訳サービスの費用
は、医療機関が負担するが、
2分の1までは外国人から
徴収でき、負担金額は2時
間3千円程度。少ない費用
で安心して受診できる。

●特定健診受診者の増え

問 特定健康診査等事業費
の説明の中で5百人UPを
めざしているとの説明があ
った。特に生活習慣病の中

でも、万病の元と言われて
いる糖尿病の健診は是非進
めていただきたい。増やす
ために工夫される内容は何
か。

答 平成20年度から実施し、
受診率は50%を超え定着し
てきている。5百人UPに
ついては、特定健診の対象
者となる被保険者には、個
別に受診券を送付し、受診
を促している。また、ホー
ムページ・広報に記事を掲
載し、公共施設にはポスタ
ーを掲示して勧奨している。
受診率向上のため、広報
の回数をふやすことを考え
ている。

■産業建設委員会

産業建設委員会は、3月
16日(金)、平成23年度一
般会計補正予算始め補正予
算4件、平成24年度一般会
計予算を始め新年度予算4
件、条例改正などその他議
案3件、合計11件の議案を
審査した。

●緊急雇用創出事業

問 県緊急雇用創出事業委
託料4百61万円の減額で、
目的である雇用の創出は達

成できたのか。また、事業
を精査する必要があるのだ
はないか。

答 減額補正は、委託事業
の指名競争入札における請
負残であり、各事業の目的
は達成している。また、対
象事業については、各課が
必要とする事業のうち当該
基金事業の要件に基づき精
査した。

●下水道施設の維持管理

問 維持管理費の中で他の
業務と合わせた中で減額に
なったと説明があったが、
何を合わせて減額となった
か。毎年、このような努力
をしているのか。

答 今回のケースは初めて
で、このようなことは毎年
あることはない。

今回のケースは、当初
上ケ第1ポンプ場の2号3
号エンジンの点検とオーバ
ーホールで9百50万円ほど
の予算を計上した。エンジ
ンの点検は毎年、オーバ
ーホールは10年に一度行っ
ていた。

今年度、別の事業で国の
交付金を受けて行っている
上ケ第1ポンプ場の長寿命
化計画策定業務の中で、オ
ーバーホールもこの計画の
中で行えば交付金が受けら
れることから先送りした。



■上ケ第1ポンプ場

●駅東などの計画の整合性
問 駅東の計画と夢乃蔵移
転計画、地域交流センター
計画の整合性は、図られて
いるのか。

答 駅東の計画は、現在計
画通り進んでいる。順調に
いって、平成27年度くらい
に夢乃蔵が支障になってく
ると考えている。古い建物
なので、曳き家は、難しい。

今後の対応については、
土地所有者、建物所有者、
および夢乃蔵の経営者の意
向を確認したうえで、進め
ていきたい。

●地域交流センターの整備

問 地域交流センターにつ
いて、半田市土地開発公社
が用地を先行取得するには
基本構想があつてのことだ
と思う。総合計画にないが
どのような経過か。

答 2、3年前に売りに出
していた土地で、当初は、
転車台の駐車場が不足して
いたので、一部を駐車場と
して整備しようとした。

その後、3号地関係の産
廃税による地元対策事業で
3分の2の補助金が見込め
ることになり、その土地全
体を整備できる見通しがた



■中山新池

ったことにより、今にいた
つている。

●ため池耐震診断

問 ため池堤体耐震点検の
負担金が計上されているが、
このため池か。また、堤
体の耐震診断をする池の考
え方は。

答 中山新池と高代池の2
箇所。計画では、3箇所だ
ったが、県の都合で2箇所
になった。堤体の耐震診断
は、住民の生命・財産を守
る意味で、下流域に集落が
ある池を中心に池の形状も
考慮して要望している。